

# らくちんファンド

追加型投信 / 内外 / 株式 / ファンド・オブ・ファンズ

子どもたちに夢を。

らくちんファンド

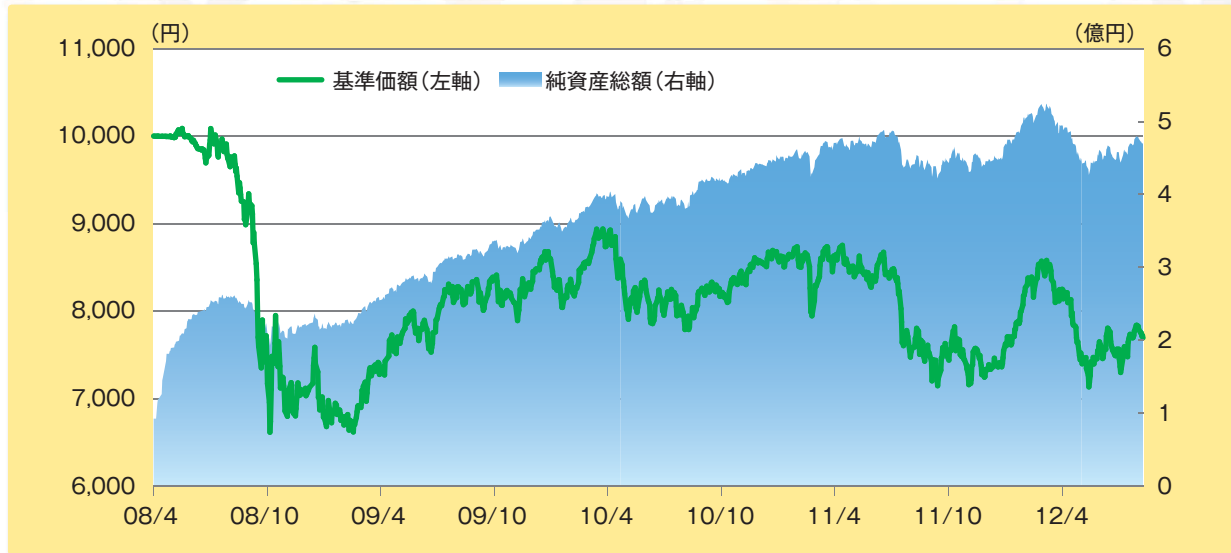
検索

clover  
asset management

## らくちんファンド運用状況のご報告

(基準日 8月31日現在)

### → 基準価額と純資産総額の推移



### → 期間別騰落率 (%)

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
1.70	3.04	-7.52	0.10	-6.70	-23.05

### → らくちんファンド概要

基準価額	7,695円
純資産総額	468,819,058円
設定日	2008年4月24日
信託期間	無期限
決算日	毎年2月25日

## 8月の投資環境

8月の世界の株式市場は、総じて堅調に推移しました。前月のレポートでもお伝えしましたが、過去半年ほど株式市場の逆風となっていた二つの要因、つまり政府債務問題などを抱える欧州への警戒感と、米国経済の悪化懸念の二つに、それぞれ改善が見られたことがその背景と考えられます。また、高止まりする失業率に代表されるように、景気の現状は依然として満足のいくものではないことから、欧米の中央銀行が一段の金融緩和に踏み切ることへの期待感が根強く、このことも株価下支え要因となりました。

欧州では、ECB(欧州中央銀行)のドラギ総裁から、スペインやイタリアなどの国債買い入れを通じた支援策強化の発言があったことが、市場の雰囲気大きく改善させました。ただ、欧州のいくつかの国からはこうした支援への反対や懸念も表明され、株価を一気に押し上げるには至りませんでした。

一方、米国では、雇用者数が市場参加者の事前予想を大きく上回り、景気の先行きへの不安が後退したことが株価を押し上げました。また、月の半ばに発表された小売売上高の好調な数字や、底打ちを示唆する住宅関連指標が相次いだこともプラスとなりました。

新興国の株価は、景気減速への不安が重荷となり、全体としてさえない展開となりました。日本株は、7月の不振を挽回する動きを見せましたが、中国の景気低迷が一段と懸念される中で、中国関連企業の株価が売り込まれるなど、業種や企業によって株価の好不調が分かれました。

なお、特に大きな調整局面がなかったため、買付は見送りました。

当レポートは、らくちんファンドの運用状況等の情報提供を目的として、クローバー・アセットマネジメント株式会社が作成したものです。当レポートは信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・安全性を保証するものではありません。らくちんファンドの受益権の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容を確認の上、ご自身の判断でお申込みください。記載された内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

## 今後の見通し

8月は、夏場で取引参加者が少なかったこともあり、株価の動きがかなり小さな1ヵ月でした。ただ、動きの少ない時期の後に大きな変動が訪れることはよくあります。

上に振れるか下に振れるか予想の難しいところですが、プラス面としてまず挙げられるのは、9月に入ってECBが打ち出した国債の無制限買い入れです。スペインなどの国債利回りは、これまで債券投資家の警戒感から高止まりしていましたが、この発表を機に大幅に低下(値段は上昇)しました。赤字の大きな国は、高い金利を求められる結果、利息の支払いがかさんで赤字がさらに膨らんでしまう困難な状況にあります。この悪循環を断ち切ることができそうです。

また、欧州の銀行にとっては、保有する国債の価格下落による財務状況の一段の悪化を回避できる可能性が高まったことを意味します。欧州の銀行は、財務悪化への対応策として、貸出抑制(貸し渋りや貸しはがし)を進めていました。これが欧州域内だけでなく、新興国を含めて広く世界経済に悪影響を及ぼしてきたことを考えますと、欧州の国債利回りの低下は大きなプラス材料と言えるでしょう。

ただし、現在の欧州経済悪化の一因でもある財政緊縮は今後も続きますから、ECBの今回の動きで欧州景気が一気に盛り返すとまでは期待できません。また、ユーロの安定に不可欠と思われる金融機関の監督強化や財政の統合に向けて、調整に時間のかかる課題は山積しています。欧州問題が片付くのは、まだまだ先のことでしょう。

もうひとつの焦点は米国です。現在、QE3(量的緩和の第3弾)への期待が高まっていますが、景気回復にどの程度の効果を持つかわかりません。期待先行で上げた株式市場は、見極めに冷却期間を置く可能性もあります。また、2013年早々には、減税措置の期限切れなどによって景気が冷え込む懸念も残っています。

とは言え、これらの懸念要因が株価を大きく下落させるとも思えません。そもそも株式投資で最も危険な時期には、投資家の頭から懸念材料が消え去り、いい話ばかりが語られているものです。景気は拡大し物価は上がり、金融政策は引き締めに転じているのが一般的です。楽観が支配して、利益や企業の純資産に比べて株価が割高な時こそ危険なのですが、そうした兆候は見られないのです。このため、当面は若干慎重な対応が必要と感ずるものの、基調として企業の成長に根差した株価上昇が続くと考えは変わっていません。

## 運用担当者交代のお知らせ

さて、お客様には誠に申し訳ないのですが、私、久保田徹郎は、一身上の都合によりこのたび弊社を退社することとなりました。らくちんファンドの運用は、10月より、弊社代表取締役の宮内鋭が引き継ぎます。たびたびの担当者交代によりお客様にご心配をお掛けすることとなり、心からお詫び申し上げますとともに、当ファンドの運用の基本方針は変わることなく今後も運用を継続してまいりますので、引き続きらくちんファンドへのご支援をよろしくお願い申し上げます。



# らくちんファンド

追加型投信 / 内外 / 株式 / ファンド・オブ・ファンズ

子どもたちに夢を。

らくちんファンド

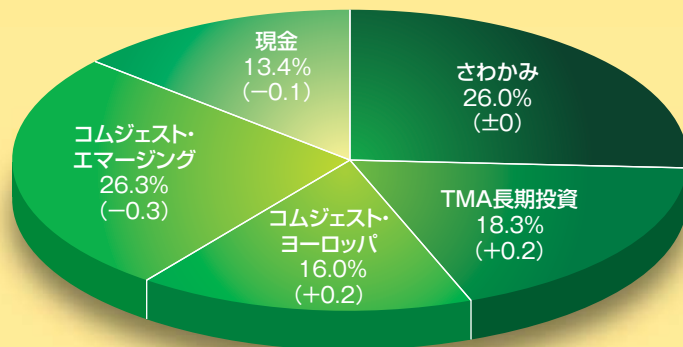
検索

clover  
asset management

## 組入状況

(基準日 8月31日現在)

### →組入れ比率



※ ( ) は前月比

**TMA長期投資** 基準価額:8,195円 純資産:1,851百万円

順位	銘柄	国名	業種	比率%
1	キーエンス	日本	産業用エレクトロニクス	4.6
2	NOVOZYMES A/S-B SHARES	デンマーク	素材	3.5
3	ミスミグループ本社	日本	商社	3.3
4	TESCO PLC	イギリス	食品・生活必需品小売り	3.2
5	BARRICK GOLD CORP	カナダ	素材	3.1
6	ファナック	日本	機械	3.1
7	デンソー	日本	自動車	3.1
8	エア・ウォーター	日本	基礎素材	2.9
9	キヤノン	日本	産業用エレクトロニクス	2.9
10	浜松ホトニクス	日本	産業用エレクトロニクス	2.8

**コムジェスト・ヨーロッパ** 基準価額:8,526円 純資産:2,159百万円

順位	銘柄	国名	業種	比率%
1	INDITEX	スペイン	一般消費財・サービス	6.5
2	SAP AG	ドイツ	情報技術	6.0
3	SODEXO	フランス	一般消費財・サービス	5.2
4	HENNES & MAURITZ AB-B SHS	スウェーデン	一般消費財・サービス	4.8
5	DASSAULT SYSTEMES SA	フランス	情報技術	4.6
6	LINDE AG	ドイツ	素材	4.6
7	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SA	フランス	一般消費財・サービス	4.4
8	DANONE	フランス	生活必需品	4.1
9	EXPERIAN PLC	イギリス	資本財・サービス	4.0
10	L'OREAL	フランス	生活必需品	3.9

**さわかみ** 基準価額:9,693円 純資産:198,757百万円

順位	銘柄	国名	業種	比率%
1	トヨタ自動車	日本	輸送用機器	4.6
2	ブリヂストン	日本	ゴム製品	3.8
3	花王	日本	化学	3.0
4	三菱重工業	日本	機械	3.0
5	国際石油開発帝石	日本	鉱業	2.3
6	信越化学工業	日本	化学	2.1
7	デンソー	日本	輸送用機器	2.1
8	パナソニック	日本	電気機器	1.8
9	ホンダ	日本	輸送用機器	1.6
10	商船三井	日本	海運業	1.6

**コム・エマーシング** 基準価額:8,329円 純資産:2,845百万円

順位	銘柄	国名	業種	比率%
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	台湾	情報技術	4.9
2	CHINA LIFE INSURANCE CO-H	中国	金融	4.3
3	HEINEKEN NV	オランダ	生活必需品	3.7
4	NHN CORP	韓国	情報技術	3.3
5	TENARIS SA-ADR	アルゼンチン	エネルギー	3.0
6	BUNGE LTD	アメリカ	生活必需品	2.9
7	PING AN INSURANCE GROUP CO-H	中国	金融	2.8
8	MOBILE TELESYSTEMS-SP ADR	ロシア	電気通信サービス	2.8
9	BHARAT HEAVY ELECTRICALS	インド	資本財・サービス	2.8
10	SAMSUNG LIFE INSURANCE CO	韓国	金融	2.8

※業種分類は各運用会社によって異なります。

当レポートは、らくちんファンドの運用状況等の情報提供を目的として、クローバー・アセットマネジメント株式会社が作成したものです。当レポートは信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・安全性を保証するものではありません。らくちんファンドの受益権の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容を確認の上、ご自身の判断でお申込みください。記載された内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

## 業務管理部からのお知らせ

### 【取引報告書の記載事項変更について】

2012年7月17日から新システム移行に伴い、交付書類のレイアウト及び記載事項が変更されました。また取引報告書について、「残高口数」・「個別元本」が解約時にのみ記載されることとなりました。

今後、お取引の都度「残高口数」・「個別元本」等をお知りになりたい場合は、恐れ入りますが、弊社までお電話にてお問い合わせ下さい。その際ご本人様確認として、①氏名 ②住所 ③生年月日 ④解約代金の振込先をお伺いしますので、ご準備をお願いします。

また、現在3カ月毎にお送りしている取引残高報告書を、毎月交付することも可能です。そちらの書類には、残高口数・個別元本等が記載されておりますので、ご希望のお客様は、下記の方法により変更用紙をご請求ください。

<ホームページからの請求>

「各種お手続き」→「変更用紙請求」フォームより用紙をご請求下さい。

<お電話での請求>

「取引残高報告を毎月発行してほしい」旨をお申し出ください。

ご不明な点等ございましたら、弊社までお問い合わせください。

クローバー・アセットマネジメント株式会社  
業務管理部

東京:03-3222-1220 / 大阪:06-4790-6200

(受付時間:平日9時~17時)

E-mail:gyoumu@clover-am.co.jp

※先月号の当お知らせの下から2行目に、「※上記は平成24年8月末現在のもので。」との記載がありましたが、正しくは、7月末現在の誤りでした。訂正し、お詫び申し上げます。

## 今後のセミナー情報

当ファンドウェブサイトではセミナー情報を随時更新しています！



当社では、セミナー・勉強会の主催者を募集しております。ご要望に応じ、当社から講師が伺います。ご希望の方はお気軽にお問合せください。(TEL 03-3222-1220)

### 【ファンドの費用】

購入手数料: ありません  
 信託財産留保額: お申込日の翌々営業日の基準価額に0.1%の率を乗じた  
 信託報酬: 信託財産の純資産総額に年0.945% (税抜年0.90%) を乗じた額  
 投資対象とする投資信託証券の信託報酬を加味した実質的な負担額は概算で年1.6%±0.3%となります。  
 その他の費用等: 監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等。

### 【投資リスク】

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本は保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。当ファンドに生じた利益及び損失は、全て投資者の皆様に帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

■当ファンドは国内外の株式へ投資する投資信託への投資を通じて間接的に投資を行いますので、組入れ銘柄の株価下落や為替変動、信用状況等の悪化により、基準価額が下落し、元本を割り込むことがあります。

■当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」「為替変動リスク」「カントリーリスク」「信用リスク」「流動性リスク」などがあります。

当レポートは、らくちんファンドの運用状況等の情報提供を目的として、クローバー・アセットマネジメント株式会社が作成したものです。当レポートは信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・安全性を保証するものではありません。らくちんファンドの受益権の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容を確認の上、ご自身の判断でお申込みください。記載された内容は、将来予告なしに変更されることがあります。